

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	元年度決算 額[千円]	2年度決算 額[千円]	総合評 価	①評価の理由 ②令和3年度に取り組む改革・改善内容	3年度予算 額[千円]
1	一般	3	1	1	地域で支えあう福祉社会の形成	社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		①社会福祉協議会への活動助成。災害被災者・原爆被爆者支援。福祉健康フェアの開催。社会福祉法人への監査。 ②市と社会福祉協議会との連携、自然災害による被災者支援、少子高齢化による担い手不足など	114,312	62,703	6精査・ 検証	①様々な地域課題に対して、市と地域が協働で解決する必要がある。しかし、協働で行うことにより地域等ではらつきが出てしまう可能性があるため。 ②社会福祉協議会の活動に対して補助金を交付し、地域福祉の促進を図る。併せて、災害被災者や原爆被爆者に対しての見舞金の支給を行う。	58,664
2	一般	3	1	1	地域で支えあう福祉社会の形成	民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		①民生委員・児童委員及び主任児童委員の調査・相談活動を支援するため、活動費を補助する。 ②幅広い地域ニーズに対応している民生委員への負担は重くなる一方、この点へのフォローが必要。	7,601	7,446	6精査・ 検証	①民生委員・児童委員及び主任児童委員が、その職務を円滑に行えるよう、委嘱や活動の補助についての検証が必要である。 ②令和4年度の一斉改選に向け、欠員なく委嘱できるよう準備を進める。	7,753
3	一般	3	1	1	地域で支えあう福祉社会の形成	地域福祉に要する経費	社会福祉課			①誰もが住みやすい地域づくりや安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉に関する各種事業を行う。 ②地域での日ごらの見守り活動や避難行動要支援者への支援方法などが課題。	6,841	7,073	6精査・ 検証	①高齢化、核家族化などにより、地域のつながりの希薄化が年々進んでおり、地域での支えあいを充実させる必要がある。 ②避難行動要支援者避難支援制度の同意者への救急医療情報キットの配布や自治会への周知・協定締結を進める。	10,398
4	一般	3	1	2	地域で支えあう福祉社会の形成	総合福祉保健センターの管理に要する経費	社会福祉課			①総合福祉保健センターの維持管理、補修等を行い施設の安全面等の確保を図る。 ②平成26年度に大規模改修を実施したが、設備の経年劣化も見られ、計画的な設備の改修更新が必要。	34,144	37,758	6精査・ 検証	①公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、施設の延命化を図っていく必要がある。 ②経年劣化した設備等の修繕を行うなど、施設の安全面を確保する。	40,642
5	一般	3	1	2	地域で支えあう福祉社会の形成	総合福祉保健センター改修事業	社会福祉課	○	○	①総合福祉保健センター各階トイレの手洗い場の自動水洗浄化及びソープディスペンサーの自動化により、感染症の予防を図るとともに、高齢者や障がい者等の身体の不自由な方へ配慮することを目的とする。 ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、計画的に工事を実施し、年度内に完了させる。	0	1,265	7拡充	①感染症対策のため、令和2年度に総合福祉保健センター改修事業の設計委託を実施し、令和3年度に改修工事を実施する予定であるが、感染症対策を推進するため、照明の人感センサー化等の追加工事費用について、6月補正予算(2,000千円)を計上した。 ②センサー式水栓等の製品の納期が遅延することを見込んだうえで、工事を年度内に完了できる工程を組み、進行管理する。	8,927